

No	競技名 氏 名 所属名	実 績 等
1	自転車競技 くぼき かずしげ 窪木 一茂 日本競輪選手会福島支部	2022UCI世界選手権大会トラックレース 男子スクラッチ 2位
2	バドミントン競技 さいとう しゅん 齋藤 駿 福島県立ふたば未来学園高等学校(3年)	2022年世界ジュニア選手権大会 団体戦(国別対抗戦) 3位
3	バドミントン競技 いわの こうや 岩野 滉也 福島県立ふたば未来学園高等学校(3年)	2022年世界ジュニア選手権大会 団体戦(国別対抗戦) 3位
4	バドミントン競技 たにおか だいご 谷岡 大后 福島県立ふたば未来学園高等学校(2年)	2022年世界ジュニア選手権大会 団体戦(国別対抗戦) 3位
5	バドミントン競技 やまきた なお 山北 奈緒 福島県立ふたば未来学園高等学校(2年)	2022年世界ジュニア選手権大会 団体戦(国別対抗戦) 3位
6	アルペンスキー すずき たけし 鈴木 猛史 KYB株式会社	北京2022パラリンピック冬季競技大会 アルペンスキー競技 座位 男子スーパー複合 5位 北京2022パラリンピック冬季競技大会 アルペンスキー競技 座位 男子大回転 5位 北京2022パラリンピック冬季競技大会 アルペンスキー競技 座位 男子滑降 8位
7	アルペンスキー はらだ のりか 原田 紀香 株式会社セールスフォース・ジャパン	北京2022パラリンピック冬季競技大会 アルペンスキー競技 座位 女子回転 8位
8	陸上競技 かわもと かずひさ 川本 和久 (元)東邦銀行陸上競技部監督 (元)福島大学陸上競技部監督	「福島の陸上を強くしたい」という強い思いの下、独自の指導理論と卓越した指導技術により、これまで日本記録保持者やオリンピック代表選手を数多く輩出した功績は顕著である。また本県の多くの子どもたちにスポーツの魅力や大切さを伝え、震災後には復興支援のためのチャリティー陸上教室を全国各地で開催するなど、陸上界の発展はもとより、本県の復興に対する功績も多大である。※令和4年5月御逝去